

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)白石区移転新複合庁舎隣接複合施設新築工事	階数	地上5F地下2階
建設地	札幌市白石区南郷通1丁目南	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	人
気候区分	2地域	年間使用時間	1,278 時間/年
建物用途	事務所、物販店、飲食店、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 竣工	評価の実施日	2016年7月1日
敷地面積	3,514 m ²	作成者	
建築面積	3,170 m ²	確認日	2016年7月5日
延床面積	7,218 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 複合庁舎と連携し要所のオープンスペースを活かした地域の活動、コミュニティ活性的の拠点づくり 地下鉄白石駅の新たな顔として、端正な外観を保持し、テナントの必要面積を確保しながら、居心地の良い内部空間(インナーガーデン)を計画することにより、駅前の活性化に寄与する「街のガーデン」をつくる計画 		<p>A 省エネルギー</p> <p>注) 「A: 省エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 共用部における自然通風の促進 エネルギー管理システムの導入
<p>B 省資源等</p> <p>注) 「B: 省資源等」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 節水機器の利用 間伐材を使用した集成材木ルーバーの利用 	<p>C 緑化</p> <p>注) 「C: 緑化」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> となる南郷通り側の緑化を実施 複合庁舎との間の中庭空間に配慮し、壁面緑化を検討 	<p>D 雪処理</p> <p>注) 「D: 雪処理」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エントランス、駐車場入り口など随所にロードヒーティングを設置

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される